

グローバル地域文化学部 コース別説明会

2025年4月2日

ヨーロッパコース

コース主任 : 中嶋洋平
ynakashi@mail.doshisha.ac.jp

Global and Regional Studiesとは？

目指すべき人物像

複数の外国語を運用することができ、
地域文化に関する学際的な知識をもつ
とともに、それらをグローバルな視野
から多角的かつ批判的に考察すること
ができる（知識・技能）

世界の惨状や人々の哀しみに感応し
つつ現代社会が抱える諸問題を自ら
発見・理解するとともに、その解決
へ向けた方途を柔軟かつ創造的に思
考することができる。

(思考力・判断力・表現力)

グローバル社会の流動的な境界に対する
鋭敏な感性をもち、他者を尊重する寛容
さや協調性および良心ある知性に基づい
て、希望ある共生社会の構想と実現へ向
けて貢献できる。

(主体性・多様性・協働性)

- ・ グローバル社会にふさわしい教養
- ・ 良心ある知性、自由な精神
- ・ 複数の外国語運用能力
- ・ 共生社会を構想し、実現できる主体

学部のカリキュラムコンセプト

言語

地域

ディシプリン

トピック
・イシュー

グローバルな問題を、ローカルに考える



相互に関係

ローカルな問題を、グローバルに考える

カリキュラムの主要な4つの要素

1. 外国語科目
 2. 講義科目
 3. セミナー
 4. スタディー・アブロード科目（SA科目）
（留学など）
- ⇨ 自分の興味・関心を広げ、ひとつのテーマを見つけ出し、深く追究し、卒業論文へ

1. 外国語科目

- 英語力の向上は必須
- 第二外国語（初修外国語）に注力
 - ➡ 多様性の理解を深める
 - ➡ ヨーロッパにおける言語の複数性
 - ➡ 卒業までに**B1**以上を取得（オナーズ）

※ B1とはCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）のレベルのこと。ヨーロッパ諸言語の学習者の言語習得状況を示すことができる。A1, A2, B1, B2, C1, C2の6段階がある。

外国語の履修型・第二言語を決める

言語選択は
重要です！

英語型 or 初修型

初修型をお薦
めします！

GRの学びと結びつけて言語選択をする(卒業論文)

- 第一推奨言語：ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語
- 第二推奨言語：イタリア語、アラビア語、トルコ語

第二推奨言語を履修する場合は、必ず「英語型」になります！

※留学生は「英語型（英語14単位＋日本語10単位）」を推奨。詳しくは相談のこと！

※「英語型」か「初修型」かは発展セミナー申請時（2年次の1月頃）に変更できる。

初修外国語のコース選択

- インテンシヴ I ・ II
(週3回型：3単位)

GR学部ではインテンシヴ
の履修を推奨！

- 入門 I ・ II (週2回型：2単位)

外国語学習ガイド
ブックと説明ビデオを
参照！

※第二推奨言語のカリキュラムは第一推奨言語のカリキュラムと異なるので
注意すること。

2. 講義科目

まずは必修科目と
GR学部科目！

- 自分の興味・関心を広げる
- さまざまな学問のスタイル
（ディシプリン）を知る
- 「問い」を立てる

ディシプリンてなに？

必修科目

各コースごと

- 春・火4 「ヨーロッパ研究入門Ⅰ」
- 秋・火4 「ヨーロッパ研究入門Ⅱ」

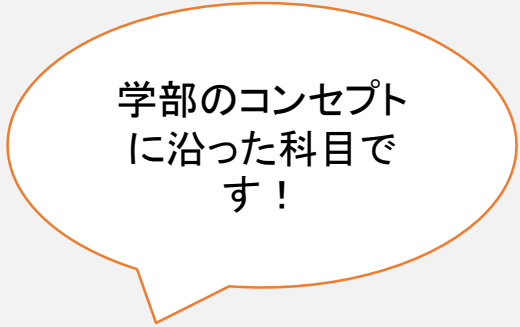
コース横断！

- 春・水1 「グローバル地域文化論Ⅰ」
- 秋・水1 「グローバル地域文化論Ⅱ」

選択必修科目A群

「グローバル・イシュー」

- グローバル・イシュー1
(グローバル化の世界史) 秋・火3
- グローバル・イシュー2
(ジェンダーと地域文化) 秋・金3
- グローバル・イシュー5
(エスニシティ論) 秋・月1
- グローバル・イシュー9
(国際関係論) 春・金4
- グローバル・イシュー11
(グローバル社会と英語) 秋・月3



学部のコンセプト
に沿った科目で
す！

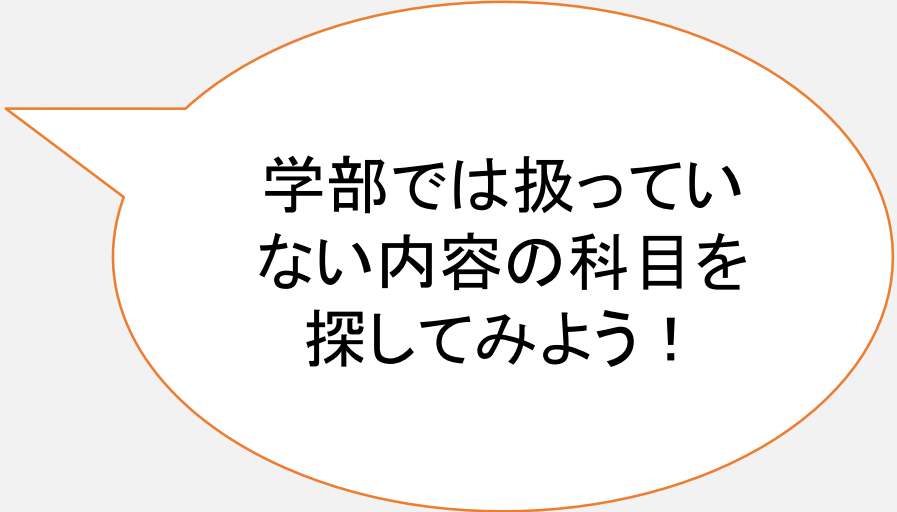
選択科目A群

- ヨーロッパ地域の歴史1（ヨーロッパと植民地主義） 秋・木1
- ヨーロッパ地域の文化1（言語からみるヨーロッパ） 秋・火3
- ヨーロッパ地域の文化2（ヨーロッパの映像文化） 春・金2
- ヨーロッパ地域の課題1（政治参加と市民運動） 春・水5
- ヨーロッパ地域の課題2（ヨーロッパの環境問題） 春・集中(8/25-28)
- ヨーロッパ地域の課題3（ヨーロッパの地理） 秋・金2
- ヨーロッパ地域の課題4（宗教からみたヨーロッパ文化） 秋・金3

※「ヨーロッパ地域の歴史1～3」「ヨーロッパ地域の文化1～5」「ヨーロッパ地域の課題1～8」の各授業のうち、1年次から履修可能な授業は上にあるとおりです。

その他

- 選択科目A群（他コース分）
- 全学共通教養教育科目
- 他学部科目
- 教職科目



学部では扱っていない内容の科目を探してみよう！

3. セミナー

必修科目です

アカデミックスキル

- 1 年次 :
「グローバル地域文化導入セミナー」 春・木 3
「グローバル地域文化入門セミナー」 秋・木 3
- 2 年次～ : 教養セミナー 1～13 ——— ディシプリン
- 3 年次 : 発展セミナー I・II ——— テーマの発見・探究
- 4 年次 : 専門セミナー I・II ——— 卒業論文の構築

- 読む力、書く力、発信する力
- 「自分の」テーマを見つけ出す
- 学びの集大成としての「卒業論文」

多様な文献を駆使して論文を書くためには、1年次から計画的履修が重要！
特に外国語！

卒業のために必須！

卒業論文のテーマ

- 欧州連合（EU）における改正・新車乗用車・小型商用車（バン）の二酸化炭素（CO₂）排出規則に含まれる政策関係者の意図についての考察
- 2021年容器包装廃棄物法の改正から見るドイツの環境意識
- グローバル社会におけるフランス共和国理念の再考——「ライシテ」を中心に——
- ベルギーにおけるサン・パピエ問題の制度的課題——連邦制に基づく分業体制の観点から——
- 人と自然、人と人を繋ぐ「コモンズ」——アフリカ農村社会・ベンバにおけるミオンボ林を事例に——
- 開発途上国の環境保全と経済成長の両立——バイオフィロック技術を使用したエビ養殖を事例に——
- タリバンはいかにアメリカの対テロ戦争と闘ったのか——2001年から2021年までのタリバン外交と軍事戦略から検証する——
- 公共的議論に対する推論の枠組みの系譜——公共的理性と公的な意志との類似性——
- イギリス社会における職業イメージの形成と変化——家事使用人を事例として社会階層の視点から考察する——
- バレエ・ブランの伝統と人種差別——黒人バレエダンサーの経験に基づく考察——
- 京都市におけるウクライナ避難民支援の軌跡——持続可能な支援の構築に向けて——
- 現代日本における工芸の存在意義——民藝とコモンズの考察を通して——

4. スタディー・アブロード科目 (SA)

- 自分の目で見て、体験する
- 異文化に触れる
- 多様性や「他者」を理解する
- 国外へ出て、日本を見つめ直す

留学

フィールド・ワーク

海外プログラム
を推奨します！

黄色の部分はGR学部提供

留学プログラム	派遣留学	国内フィールドワーク &プロジェクト
・サマープログラム ・スプリングプログラム ・セメスタープログラム	・大学間協定 37カ国/地域 175大学 (半年または一年) ※2025年1月時点	・国内フィールドワーク科目 グローバル地域文化学の 実践1～2 (1は25年度休講)
・海外語学プログラム (英語) ウェスタン・ミシガン 大学 (アメリカ)	・学部間協定 延世大学 (韓国)	・国内プロジェクト型科目 グローバル地域文化学の 実践3～5
・海外フィールドワーク	・ヨーロッパ・スタ ディーズ EUキャンパスプログラム	・英語によるプロジェクト型 科目 グローバル地域文化学の発信

※ SA科目の卒業要件を満たす条件として「留学とキャリア形成」の履修・合格を課すプログラムもあります。
 ※「グローバル地域文化学の実践」を履修して合格となった場合、「グローバル地域文化学の発信」の履修・合格によりSA科目の卒業要件が満たされます。

具体的なカリキュラムの構成

- 必修科目：28
- 選択必修科目 A 群：6以上
- 選択必修科目 B 群：スタディー・アブロード（SA）
- 選択必修科目 C 群：外国語
第一言語14以上、第二言語10以上
- 選択科目 A～D 群：A 群20以上、C 群16以上
- 免許・資格

卒業に必要な単位は124単位

どのように単位を取るか？

詰め込みすぎ
はダメ！

語学以外
はレポート
が主！

	1年次	2年次	3年次	4年次
年間最高登録単位数	44	44	44	44
セメスター最高登録単位数	32	32	32	32
セメスター最低登録単位数	1	1	1	1
卒業必要単位数	合計 124単位以上			

本学部では、多様なメディアを利用した遠隔授業（学則第9条の5対象科目）の卒業必要単位数への参入上限は60単位です。
卒業必要単位数への参入については要注意！

どのように授業を組むか？

一年次の春・秋を
合わせた単位数

科目の種類	科目のカテゴリー	単位	小計	合計	備考	
必修講義科目	必修科目	8	12	24		
必修セミナー	必修科目	4				
初修外国語	選択必修科目C群	6	12		※インテンシヴを推奨	
英語	選択必修科目C群	6			※SAP（2単位）も履修可	
グローバル・イシュー	選択必修科目A群	最大20単位の範囲で 科目を組み合わせる			※2科目（4単位）を推奨	
コースの講義科目	選択科目A群					
全学共通教養教育科目	選択科目C群					
		年間44単位 （一学期32単位）				

履修中止制度を
上手に活用！

語学以外はレポートが主なので、とり
過ぎると、学期末はレポートの山に！

時間割を作成してみよう！

○：春学期 △：秋学期
 【必】：必修
 【選必A】：選択必修科目A群
 【選A】：選択科目A群

		1 講時 9:00-10:30	2 講時 10:45-12:15	3 講時 13:10-14:40	4 講時 14:55-16:25	5 講時 16:40-18:10	6 講時 18:25-19:55
月	春						
	秋	△【選必A】グローバル・イシュー5 (エスニシティ論)		△【選必A】グローバル・イシュー11 (グローバル社会と英語)			
火	春	<u>○Intensive Advanced English/ Core English(RW)/Basic English(RW)</u>	○初修外国語入門Ⅰ		<u>○【必】ヨーロッパ研究入門Ⅰ</u>		
	秋	<u>△Intensive Advanced English/ Core English(RW)/Basic English(RW)</u>	△初修外国語入門Ⅱ	△【選必A】グローバル・イシュー1 (グローバル・イシューの世界史) △【選A】ヨーロッパ地域の文化1	<u>△【必】ヨーロッパ研究入門Ⅱ</u>		
水	春	<u>○【必】グローバル地域文化論Ⅰ</u>				○【選A】ヨーロッパ地域の課題1	
	秋	<u>△【必】グローバル地域文化論Ⅱ</u>					
木	春		○初修外国語入門Ⅰ	<u>○【必】グローバル地域文化導入セミナー</u>	<u>○Intensive Advanced English/ Core English(LS)/Basic English(LS)</u>		
	秋	△【選A】ヨーロッパの歴史1	△初修外国語入門Ⅱ	<u>△【必】グローバル地域文化入門セミナー</u>	<u>△Intensive Advanced English/ Core English(LS)/Basic English(LS)</u>		
金	春		○【選A】ヨーロッパ地域の文化2		○【選必A】グローバル・イシュー9 (国際関係論)		
	秋		△【選A】ヨーロッパ地域の課題3	△【選必A】グローバル・イシュー2 (ジェンダーと地域文化) △【選A】ヨーロッパ地域の課題4			
土	春						
	秋						

初修外国語を4～6単位履修します。
 インテンシヴの時間割はクラスによって異なるので、希望するクラスに申請してください。

○集中【選A】ヨーロッパ地域の課題2(8/25-28)

英語科目とGRの必修科目については時間割が確定しています。(表の下線部の18単位)

Do weekについての注意

- 2024 年度から新たな学年暦
⇒半期の授業 = 教室13回 + オンデマンド2回
※一部例外あり
- 初回（Do week）と最終回がオンデマンド
※基本の形式、例外あり
- Do week（4月は4～10日）の動画はシラバスで確認、11日から教室での授業開始

大学における学び

- 多様な選択肢

⇒ 自分で計画・実行

- 受動から能動へ

⇒ 批判的な思考

⇒ 問いを立てる能力

本日のこれからの予定

終了

コース別説明会

10:30

登録説明

12:30

新入生歓迎会第一部

ヨーロッパコースは現教室（SK112）にて実施

16:30～室町キャンパス
寒梅館1F アマーク・ド・パ
ラディで **新入生歓迎会**
第二部（飲食あり）
※参加は任意

外国語教育科目について
の質問や初修外国語科目
登録認定を希望する人は、
15:00～16:00
良心館(RY)205へ

さあ、GとRをつなぐ世界へ、踏み出そう！

Bonne chance à tous !